学校番号	408

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	基礎数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、説明をよく聞いて課題を理解し、解決の方法を自ら考え解決していきます。また、解決の過程を振り返り、よりよい解決の方法を考え、発表したり議論したりします。
・学習の定着を図るため、必要な予習復習を自分で行いましょう。
・分からないところをそのままにせず、まずは自分で解決しようとしてください。解決できない場合は担当者に質問しましょう。また、質問するときには、どこの部分がどうわからないのか具体的に聞きましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念、原理、法則に基づいて正しく計算できる。	日常的な事象に対して、自ら考え立式することができる。また、自分の考えを表やグラフなどを用いて論理的に他者に説明することができる。	自ら疑問を持ち、間違えを恐れずに粘り強く学ぶことができる。また、自分の解答や実践を振り返り、分析することで自らの学びを調整することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	計算	１ 数の計算 ２ 式の計算	a:整式の加法・減法を理解し，計算できる。指数法則や乗法公式の意味を理解し，展開ができる。因数分解の公式を理解し，計算できる。数を実数まで拡張することの意義を理解している。分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解している。絶対値の意味を理解している。根号を含む式の計算や有理化ができる。 b:既に学習した計算の方法と関連付けることができる。また、整式を 1 つの文字に着目して整理したり，1つの文字に置き換えたりするなどして，いろいろな式の見方をすることができる。数を拡張してきた過程やその意義，数の四則演算の可能性について考察することができる。 c:整式の加法・減法，乗法公式や因数分解などに関心を持ち，目的に応じて式の変形をしようとする。数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに，数を拡張していく過程に関心を持ち，考察しようとする。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート

	割合	３ 数と量に関する問題 ４ 割合に関する問題 ５ 速さに関する問題	a:割合の意味や数量の関係を深く理解し，手際よく割合，比較量，基準量を求めることができる。速さの意味や，速さ，道のり，時間の関係を深く理解し,手際よくそれらを求めることができる。 b:倍関係に着目して同種の 2 量を比べる仕方を考え,そのよさや特徴に触れながら説明している。単位時間に進む距離で速さを表すことができることに気づき，速さ，道のり，時間の関係に触れながらそれらの求め方を考えたり説明したりしている。 c:割合のよさに気づき，進んで割合を調べようとしている。速さの比べ方について関心をもち,進んで調べようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート
2	場合の数	６ 順列 ７ 組合せ	a:順列，組合せの用語の意味や考えを理解し，場合の数を効率よく正確に求めることができる。円順列，同じものを含む順列の考えと公式の意味を理解し，それらを利用して問題を解くことができる。 b:場合の数を考えるに当たって，順序を考えるか否かに気づくことができる。 c:場合の数を効率よく正確に数えるために，順列・組合せの考えを活用しようとする。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート

	確率	８ 確率 ９ 期待値	a:確率の意味や，場合の数を求めることで確率を計算する方法を理解し，具体的な事象の確率を求めるための基礎的な知識を身につけている。確率の基本性質を理解し，それを使って，積事象や和事象，余事象の確率を求めることができる。期待値の意味を理解し，いろいろな事象の期待値を求めることができる。 b:試行の結果として起こる事柄を事象として考え，事象を集合と結びつけて考察することができる。期待値を用いて，損得を考察することができる。 c:根元事象の個数の割合を考えることによって確率が定義されることに気づき，これを使って確率を求めようとする。確率の基本的な性質があることに気づき，これらを利用して確率を求めようとする。期待値を意思決定に活用しようとする。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート
3	文章題	１０ 文章題	a:数の関係を表，式，グラフを用いて表し，問題を処理することができる。 b:変化や対応の様子を調べたり，予測したりすることができる。 c:学んだことを生活や学習にいかそうとしている。問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度